

## 『看却下』

校長 田代 雅規

禅寺の玄関に入ると「照顧却下」または「看脚下」と書いた木札が掲げてあります。

「脚下を照顧せよ」「脚下を看よ」と読むのだそうです。これは、本来的には自己を究明せよ、自己を見失ってはならぬという警告だそうですが、玄関の場合は端的にいて履物をキチンとそろえて脱ぎなさいということのようです。

どんなに忙しいときでも、履物をそろえて脱ぐぐらいの心のゆとりをもちなさいという意味で書いてあるようです。心にゆとりができると自分の姿が見えてきますし、落ち着いた生活ができるということのようです。

今から九百年も前の人、中国は宋の時代、五祖法演禅師（ごそほうえんぜんじ）がある晩、三人の高弟とともに寺に帰る途中、どうしたことか提灯の火が突然消えてしまいました。すると法演禅師は、即座に三人の弟子に対し、「この場に臨んで各自一句述べてみよ」と命じました。つまり、暗闇をゆくには灯火が何よりの頼り、その灯火が消えたときに、『さあどうする』というのです。師匠の命に応じ、弟子は三人三様の答えを出したそうですが、その中で克勤（こくごん）という弟子が「看脚下」と答え、師匠を感服させました。

暗闇に灯火を失ったような人生の悲劇に遭遇したとき、多くの方は右往左往して、自分を見失いがちなものですが、正しい道は近きにあり、自分自身に向かって求めよというのが「看脚下」の意味です。「灯台下暗し」で、人はとかく自分のことは見えないが、他人のことはよく見えるものです。だから、他人の批判はできても自分の批判はできないと言われます。他の人と比べるよりもさきに、まず自己を見つめなくてはならない。そのことを教えるのが「看脚下」です。

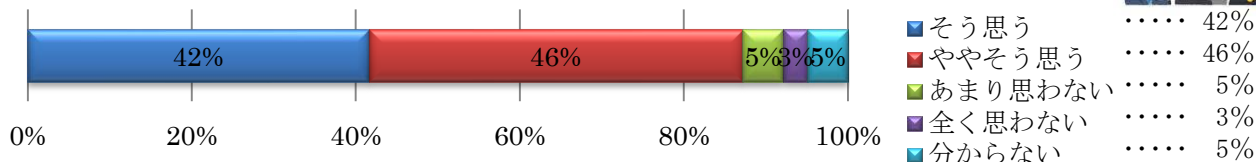
他人と比べるのは仕方がないことです。高校入試が始まりましたが、結果を他の人と比較して、喜んだり、悔しがったりすることはあるかもしれません。でも大切なことは、まず自分の脚下を見ることなのではないでしょうか。他の人と比べるのではなく、自分がこれから何をしなければならないかを考え実行することです。ロウソクの火は風が吹いたら消えてしまいますが、心の中の火は風では消えません。緑野中の生徒には、「看脚下」によって心に灯火を掲げ、自分の脚下をしっかりと見て、これから先の自分の道を歩んで欲しいと思います。



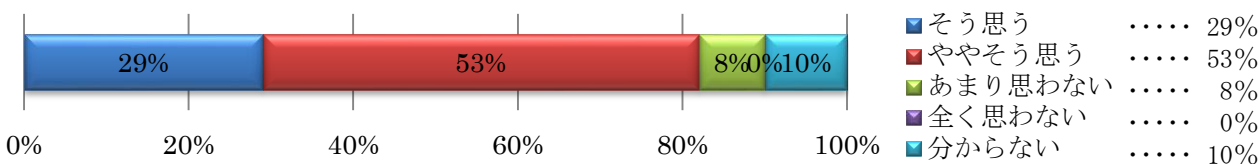
今年度は、228 件（回答率 93%：昨年 91%）ものご回答をいただきました。師走のお忙しい中をアンケートにご協力くださり、ありがとうございます。以下に各設問についての評価をご報告いたします。



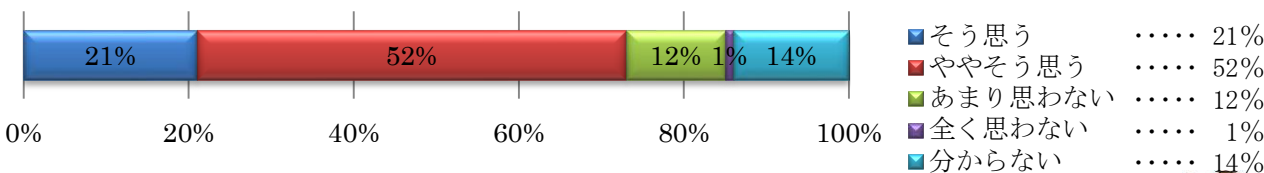
**設問 1：お子様は充実した学校生活を送っている。**



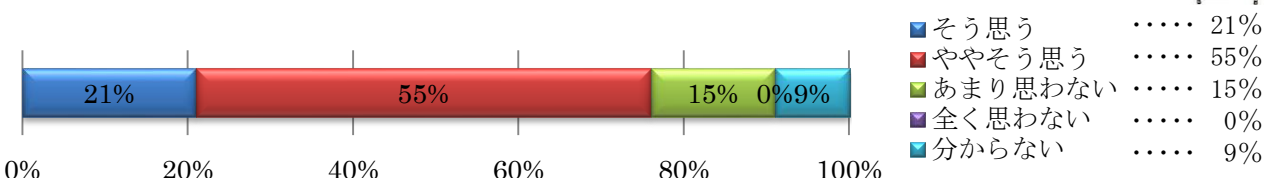
**設問 2：学校は、特色ある教育活動を推進している。**



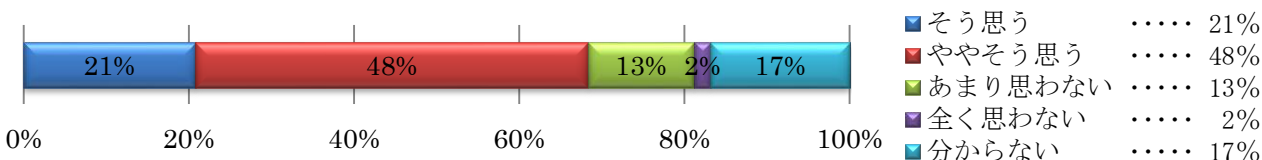
**設問 3：学校は、一人ひとりの生徒のよさや可能性を伸ばす教育活動を行っている。**



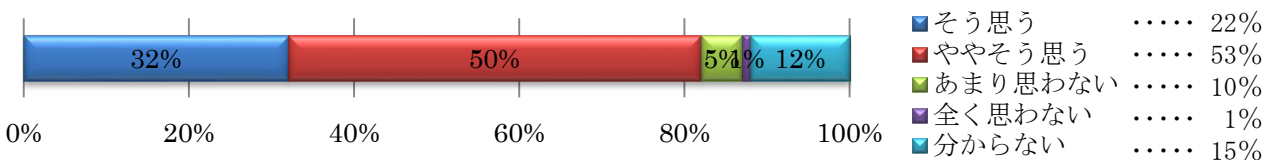
**設問 4：学校は、生徒に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。**



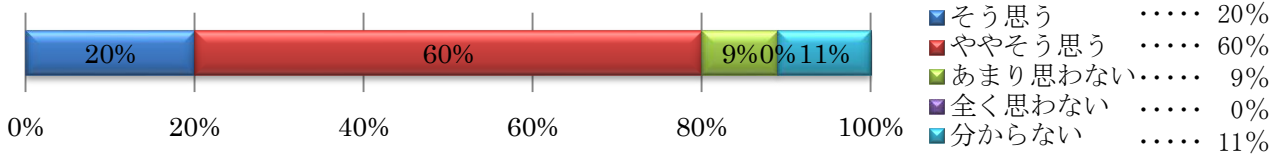
**設問 5：学校は、生徒の関心や学習意欲を引き出す授業の工夫をしている。**



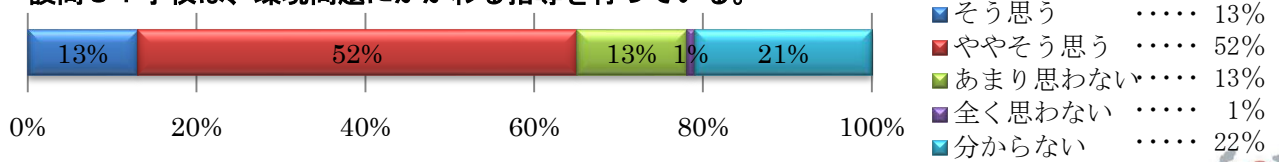
**設問 6：学校は、生徒に人とかかわったり、自分の考えを伝えたりする力を育てている。**



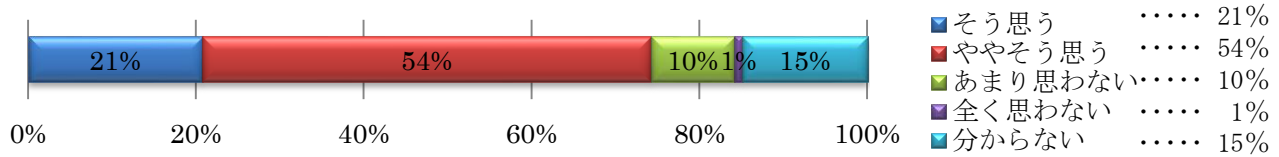
設問7：学校は、健康づくり、体力づくりを進めている。



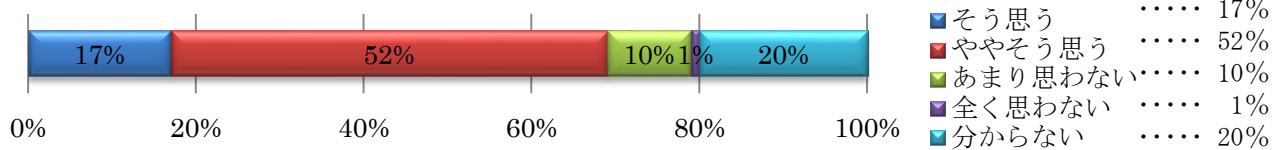
設問8：学校は、環境問題にかかわる指導を行っている。



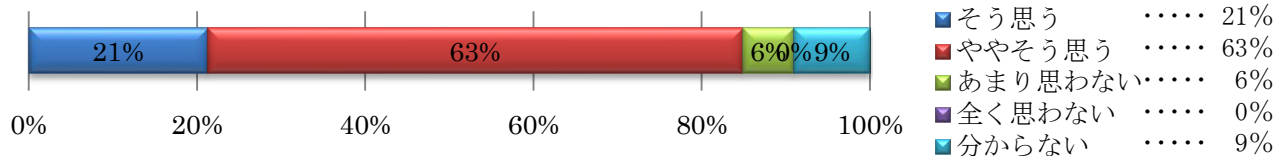
設問9：学校は、思いやりや優しい心を育てている。



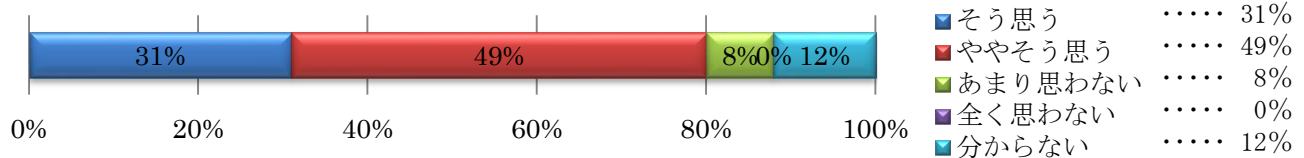
設問10：学校は、生徒に自他の生命を大切にする態度を育てている。



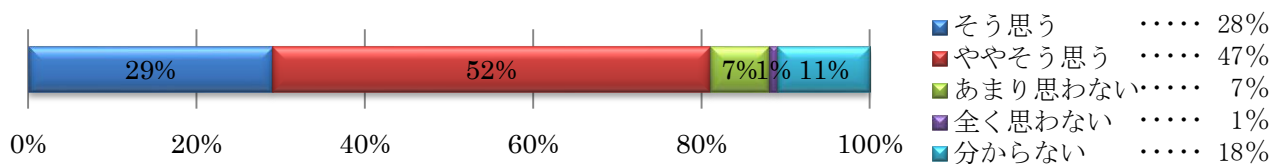
設問11：学校は生徒に社会のルールを守る態度を育てている。



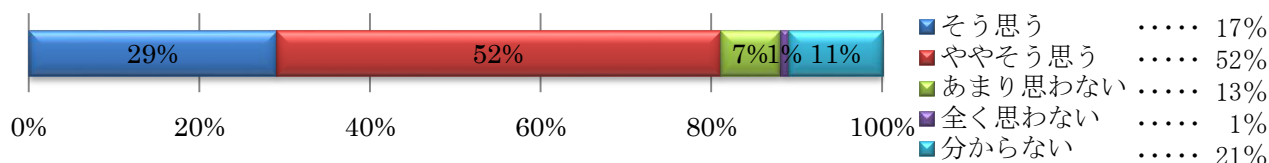
設問12：学校は、教育目標や経営方針を保護者や地域にわかりやすく伝えている。



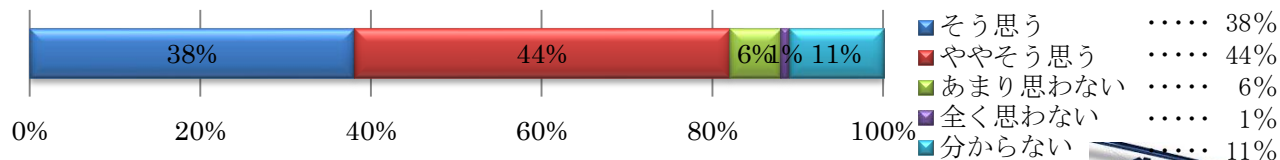
設問13：学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。



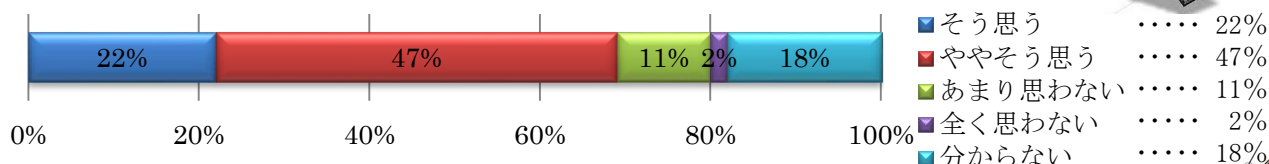
設問 14 : 学校は、地域・保護者と協力しながら子どもを教育している。



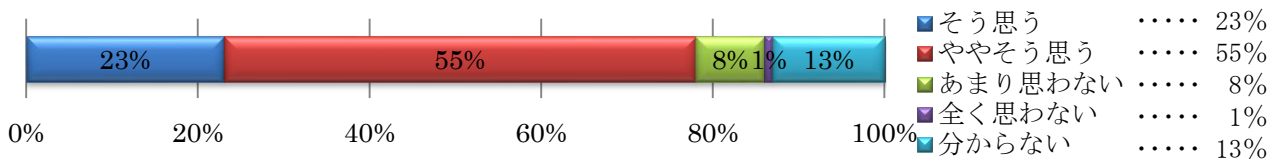
設問 15 : 学校は学校公開等の機会や学校だより、ホームページなどで、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。



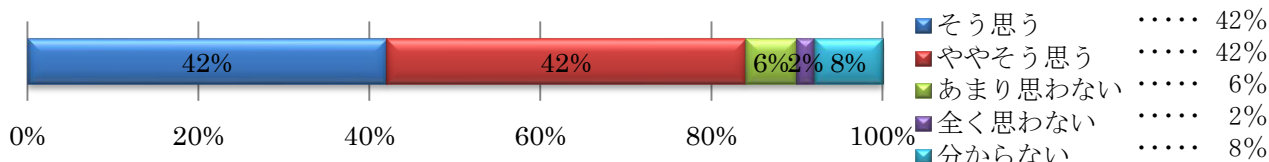
設問 16 : 学校は、子どもや保護者の悩みや相談に応じている。



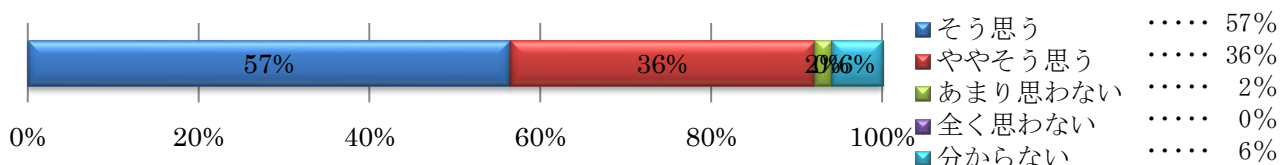
設問 17 : 学校は、子どもの安全を守るための取り組みを行っている。



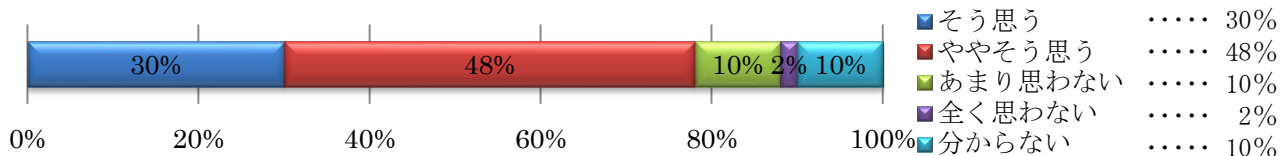
設問 18 : 学校は、熱意をもって指導に取り組んでいる。



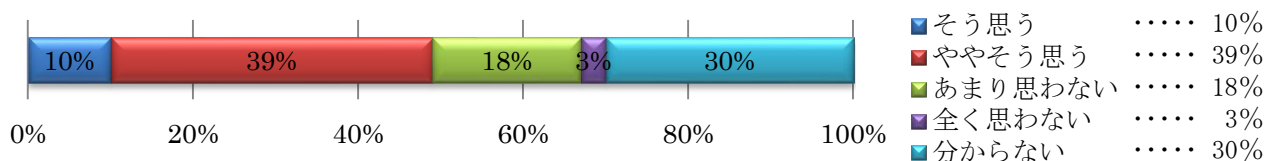
設問 19 : 教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。



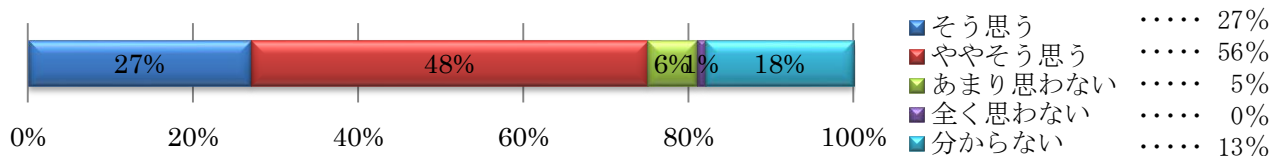
設問 20 : 学校は、一人ひとりの生徒の学習成果や生活の様子をわかりやすく伝えている。



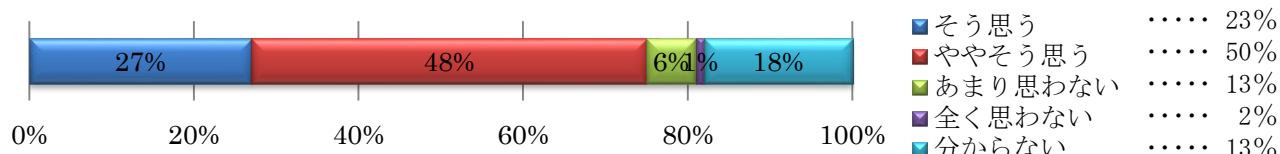
設問 21：学校は、特別支援教育や発達障がい等に関して保護者への説明を行っている。



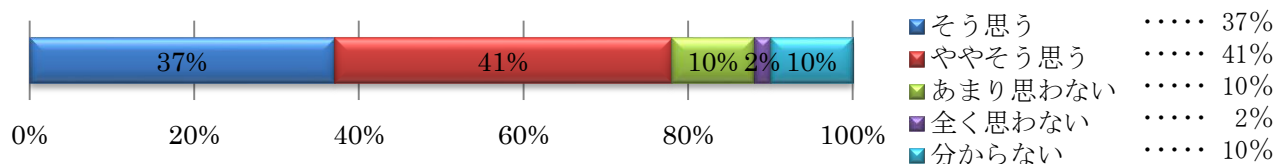
設問 22：学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。



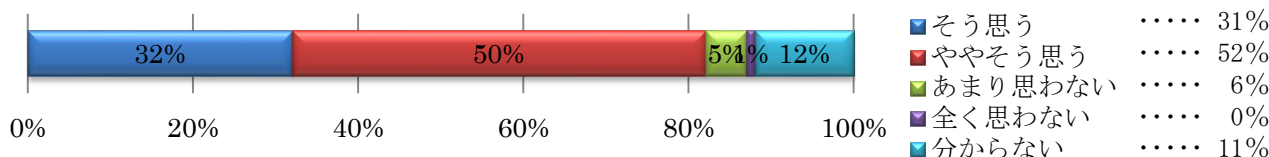
設問 23：学校は、生徒に将来に向けての生き方を考えさせ、計画的な進路指導を行っている。



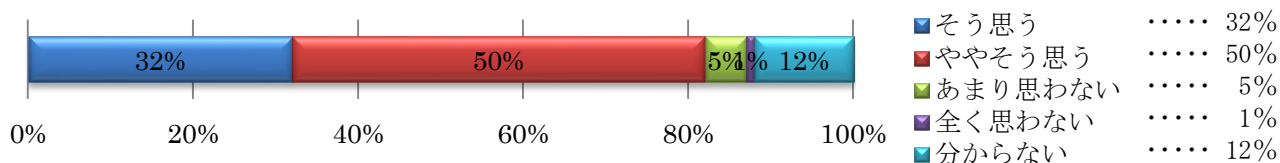
設問 24：学校は、部活動が充実するように努めている。



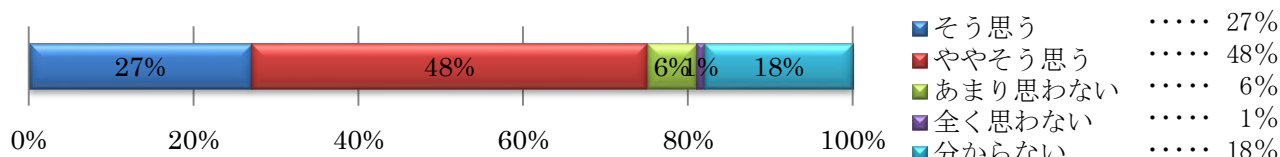
設問 25：学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実に努めている。



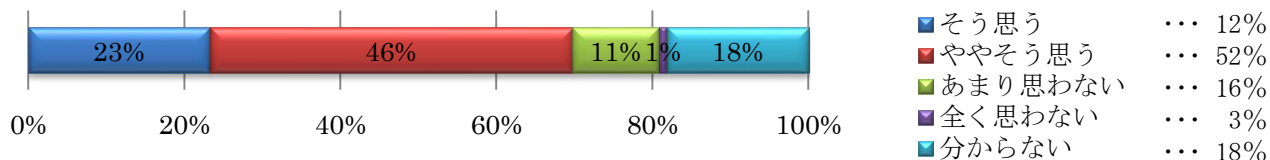
設問 26：学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導を通して、授業改善に努め、生徒の学力向上、体力向上、心の教育の充実を図っている。



設問 27：学校は、乗り入れ指導を通して、生徒の一人ひとりに応じた指導を行い、基礎的、基本的な学習内容の定着を図っている。



設問 28：学校は、小中連携教育のねらいや様子を、保護者にわかりやすく伝えている。



＜保護者アンケートの結果の分析＞

◎肯定的評価が高かった項目

番号	質問項目	27年度	28年度	増減
19	教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	97%	92%	-5%
1	お子様は、充実した学校生活を送っている。	92%	88%	-2%
18	学校は、熱意をもって指導に取り組んでいる。	85%	85%	0%
11	学校は、生徒に社会のルールを守る態度を育てている。	80%	84%	+4%
22	学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	85%	83%	-2%
25	学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実に努めている。	80%	83%	+3%
2	学校は、特色ある教育活動を推進している。	75%	82%	+7%
15	学校公開等の機会や学校だより、ホームページ等で、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。	88%	82%	-6%
26	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、生徒に中学生になった自覚をもたせたり、自己有用感を高めさせたりしている。	80%	82%	+2%

今年度の保護者アンケートの結果をみると総合的には、27項目中、昨年より評価が上がった項目は19項目、下がった項目は8項目でした。中でも90%近い高い評価をいただいた項目は、設問19と設問1の2項目でしたが、結果は昨年よりは数%下がってしまいました。

設問19の「学校での電話対応や来校時の対応」や設問1の「充実した学校生活」については、解答いただいた方だけで考えると98%、92%と昨年以上の評価をいただきましたが、「分からない」の回答が増えたため総合的な評価が下がりました。特に設問1については、お子様の学校生活が充実していないと考えている保護者の方も、現在数人いらっしゃることを受け止め、来年度は、さらに一人一人の生徒を大切にしたいと考えています。

また、設問22の「学校施設の整備」や設問25の「土曜日授業の工夫」等についても解答いただいた方からは95%以上の高い評価をいただいたのですが、「分からない」の回答が昨年より増えたため、実際の評価には反映されませんでした。学校では、美化活動だけでなく、生徒昇降口の改修や教室の掃除ロッカーの整備等、生徒が過ごしやすい校内環境を目指して、限られた予算の中で改修等に努めてきました。2月には、地下体育館の冷暖房も整備されます。来年度も更なる環境整備に努めていきます。

設問15の学校からの情報発信についても学校だより、学年だよりなど今年度は、昨年以上に定期的に発行して情報発信に努めてきたことを評価いただきました。PTAとも協力して、マメールシステムや区のメールシステムを活用して、修学旅行や各種行事の様子を保護者の方に

配信してきました。ホームページも来年度に向けて新しいものを作成中です。来年度は、保護者アンケートの「分からない」の項目を減らすことができるように、土曜日公開授業や保護者会等を含め、保護者の皆様に学校の授業や施設の様子を見ていただき、評価していただけるように工夫・改善していきます。

### ●肯定的評価が低かった項目

番号	質問項目	27年度	28年度	増減
21	学校は、特別支援教育や発達障がい等に関して保護者への説明をおこなっている。	38%	49%	+11%
4	学校は、生徒に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。	70%	75%	+5%
5	学校は、生徒の関心や学習意欲を引き出す授業の工夫をしている。	61%	69%	+8%

設問 21 の「特別支援教育や発達障がいに関しての学校としての取り組みの説明」などについては、昨年の評価は 38%で、分からないとの解答も 35%ありました。今年度は、保護者への説明や特別支援だより等を発行して、特別支援教育について説明に努めてきました。その成果もあり、昨年に比べて 11%上がりました。まだまだ、分からないと解答された方が多いので、来年度も今まで以上により多くの方にご理解いただけるように説明を行っていきます。

また設問 4、設問 5 は、学校として一番大切な授業に関する課題です。昨年は、設問 4、設問 5 は 70%、60%でした。今年度は、若い教員も増えましたが、授業に関する研修を重ね、ICT等を効果的に活用して生徒の興味や関心を高める授業に取り組んできました。その成果もあり、評価いただいた方からは、85%以上の高い評価をいただき、総合評価でも +5%、+8%と上がりました。また、技術・家庭科等は学校の教員の努力で、少人数指導で、保健体育はTT形式で授業を行ってきました。教員にとって、授業は最も大切なものです。授業内容や指導方法には、これからも工夫・改善の必要があると考えています。10月には、本校の授業改善に向けた授業改善プランも作成し、ホームページで公表しました。また、来年度は、タブレットも東京都から40台借りられることになり、さらに生徒の興味や関心を高める授業に全教員で取り組んでいきます。

今後も土曜日の授業公開等の機会を通して、多くの保護者の方に授業を参観していただき、授業改善の取り組みの様子や具体的な課題等についてご意見・ご要望をいただけると助かります。

### <個別意見>

○オープンキャンパスが教育委員会の定めた小中連携と本来の学区との違いがあり、結果的に6年生は、オープンキャンパスに多く行った先へ越境があたり前になっている。(区もそれに応じているのも疑問) オープンキャンパス=学区内の小学校であることが当然であり、オプションのオープンキャンパスでは残念だが、緑野中への入学増はわずかにしかならないことが現実であり、緑野中の良さをオープンキャンパスでもっと伝えていただきたい。

### <回答>

※この他にも平和の森小学校とのオープンキャンパスの件について御意見をいただきました。

今年度は、学校独自の取り組みで平和の森小学校の児童を対象に7月と9月にオープンキャンパスを行いました。中野区でも小中連携教育について見直しをしていただき、来年度からはオープンキャンパスも学区内の小学校に基本的に参加するということになりました。

6月9日（金）に第1回目のオープンキャンパス、9月28日（木）に第2回目のオープンキャンパスを実施する予定です。

今年、開催が重なってしまった体育祭についても、中野中と緑野中で同一日にして、平和の森小学校や他の小学校とは、重ならないように日程調整を図りました。

○学校の評判がとても悪い中、入学しましたが、今ではどこの学校のことと感じております。

校長先生はじめ先生方の熱意ある御指導とチームワークの良さで、良い雰囲気为学校に生まれ変わりました。生徒たちも先生方の良い雰囲気に引っ張られるように伸び伸びと学校生活を楽しみ、勉強と部活動、学校行事に励んでいる様子が伺えます。保護者の間では、緑野中学校に入学させて良かったねと話しております。きっと生徒たちも同じ気持で愛校心が育っているのではないかと思います。

○子どもの生活面や学習面の心配事を担任の先生はもちろん、他の先生方も親身になり聞いてくださり、対応してくださっていることに感謝しています。

<回答>

※教職員の頑張りに対して、多数温かいお言葉をいただきました。土曜日・日曜日の部活動や地域の祭礼やボランティア活動等に全教職員で取り組んできました。緑野中学校・防災隊もボランティア生徒を中心に結成し、中野区総合防災訓練等にも参加し、成果を残しました。土曜日や日曜日の活動も多く、教職員も忙しい日々ですが、これからも保護者や地域の方々と協力して取り組んでいきます。

○塾に行かなくても大丈夫な学校での学習を望みます。補習授業の強化や各科目の課題の見直しなどして、個々の生徒の伸びる力をさらに増やして欲しいです。

<回答>

※学力向上については、平成28年度の全国学習状況調査では、全国平均、東京都平均をともに超える結果は残せました。4月に実施した中野区学力調査でも全学年で、中野区の目標値は全教科達成しました。定期テスト前には、全教員で補習授業を計画し、3年生は学級委員会からの要望もあり、校内に自習室を作り自ら学習に取り組み、教員に質問できる体制を作りました。これからも、分かる授業に取り組むだけでなく、家庭での学習の充実を図るための取り組みにもさらに工夫していきます。



緑野中学校では、生徒による学校アンケートも1月に実施しました。生徒は、この1年間の緑野中学校での生活をどのように感じていたのか、2月の学校便りで生徒アンケートの結果をまとめたものをお知らせいたします。今回の保護者アンケート・生徒アンケートの結果は、3月の学校評議委員会でもお知らせし、学校評議委員の皆様からも平成28年度の緑野中学校の学校教育活動について評価していただき、ご指摘いただいたことは来年度の教育活動に生かしてまいります。